

【情報公開文書】

2020 年 12 月 24 日作成

Ver.1.0

研究課題名	一側感音難聴の実態調査
所属（診療科等）	長崎大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
研究責任者	吉田 晴郎（准教授）
研究機関	《研究代表機関》 東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科：山嵜達也 《共同研究機関》 長崎大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科：吉田晴郎 その他、全国、県内（実施体制に応じて修正）約 500 施設で実施しています。 詳しい共同研究機関をお知りになりたい方は、下記問い合わせ先に連絡していただくか、下記の URL より確認してください。 http://www.jibika.or.jp/members/nintei/senmon/pdf/kensyu-list.pdf
研究期間	2021 年 1 月 7 日～2025 年 3 月 31 日
研究目的と意義	一側性難聴は本邦では日常生活や学校教育に支障がないとこれまでは言われてきました。しかし近年、一側性難聴の日常生活に与える影響が海外から多く報告され、海外では一側聾の方に対する人工内耳手術が認可されつつあります。国内でも難聴議連を中心に一側性難聴への人工内耳の議論がなされるようになってまいりました。このような背景から、一側性難聴の実態（頻度、難聴原因、日常生活上の問題、介入と成績等）を調べ、一側性難聴に対する診療指針を作成することが必要となっております。従来小児では就学時頃まで一側性難聴の診断は困難でしたが、近年では一側性難聴の 1/4 が新生児聴覚スクリーニングで発見されるようになりました。乳幼児での正確な頻度と診療実態を調べることが可能となっており、今回全国的に一側性難聴のアンケート調査を行い、本邦における実態を調査することにいたしました。この研究の成果は、今後の一側感音難聴の実態調査研究の発展に寄与することが期待されます。したがって、将来的に一側感音難聴への対策が進むことで、一側性難聴者の QOL の改善が得られる可能性があります。
研究内容	●対象となる患者さん 2017 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日までに初診された患者の中で一側の中等度以上の感音難聴を認めた患者さん ●利用する情報 年齢・性別・原因疾患・聴力図・介入（治療）の有無・治療経過の詳細

	本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。 ●研究の概要・方法 ・日本耳鼻咽喉科専門医研修施設及び共同研究機関研究責任者を含めた日本聴覚医学会代議員に対して、アンケート調査を行います。 ・アンケートでは該当施設に、2017年4月～2020年3月までに初診された患者の中で一側の中等度以上の感音難聴を認めた患者さんの、年齢・性別・原因疾患・聴力図・介入（治療）の有無・治療経過の詳細を回答いただきます。 ・回答いただいたデータは紙面または、匿名化の上パスワードロックのかかったUSBメモリーにて東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科に送付します。 ・東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科でデータを集計・解析します。 ・アンケートの対象となる施設は専門医研修施設が約500件で約5500名のデータを収集する予定です。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：吉田 晴郎（医師） 長崎大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7463 FAX 095（819）7499 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）